Secure Web Applianceでのバックアップの設定

内容

はじめに

このドキュメントでは、Secure Web Appliance(SWA)の設定のバックアップと復元のプロセスについて説明します。

前提条件

要 件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- SWAのグラフィックユーザインターフェイス(GUI)へのアクセス。
- SWAのコマンドラインインターフェイス(CLI)にアクセスします。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

GUIからのバックアップの生成

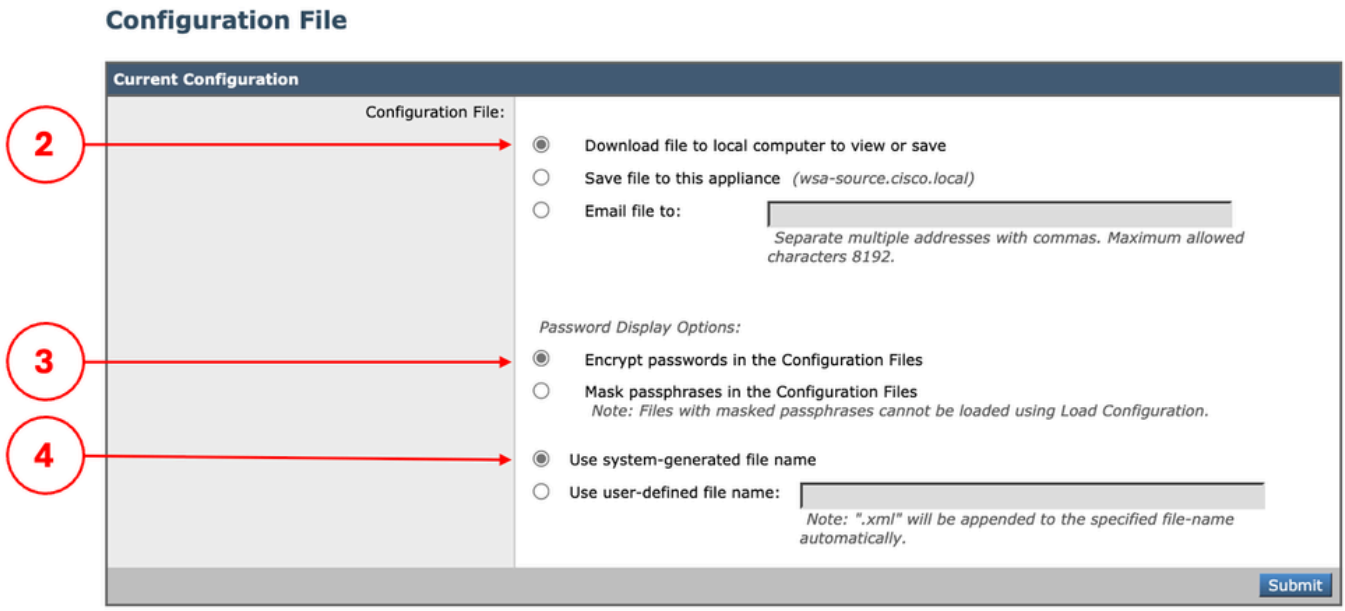
ステップ 1：GUIで、System Administrationに移動し、Configuration Fileを選択します。

ステップ 2Download file to local computer to view or saveが選択されていることを確認します。

ステップ 3Encrypt passwords in the Configuration Filesを選択します

ステップ4: (オプション) コンフィギュレーションファイルの名前を選択します。

ステップ 5[Submit] をクリックします。



イメージ：設定のエクスポート

⚠ 注意:マスクパスフレーズを使用してバックアップを生成した場合は、そのファイルをSWAにインポートできません。

リモート・サイトでの自動バックアップ

新しい変更をコミットしながら、現在の設定のコピーを別の場所に保存するようにSWAを設定できます。

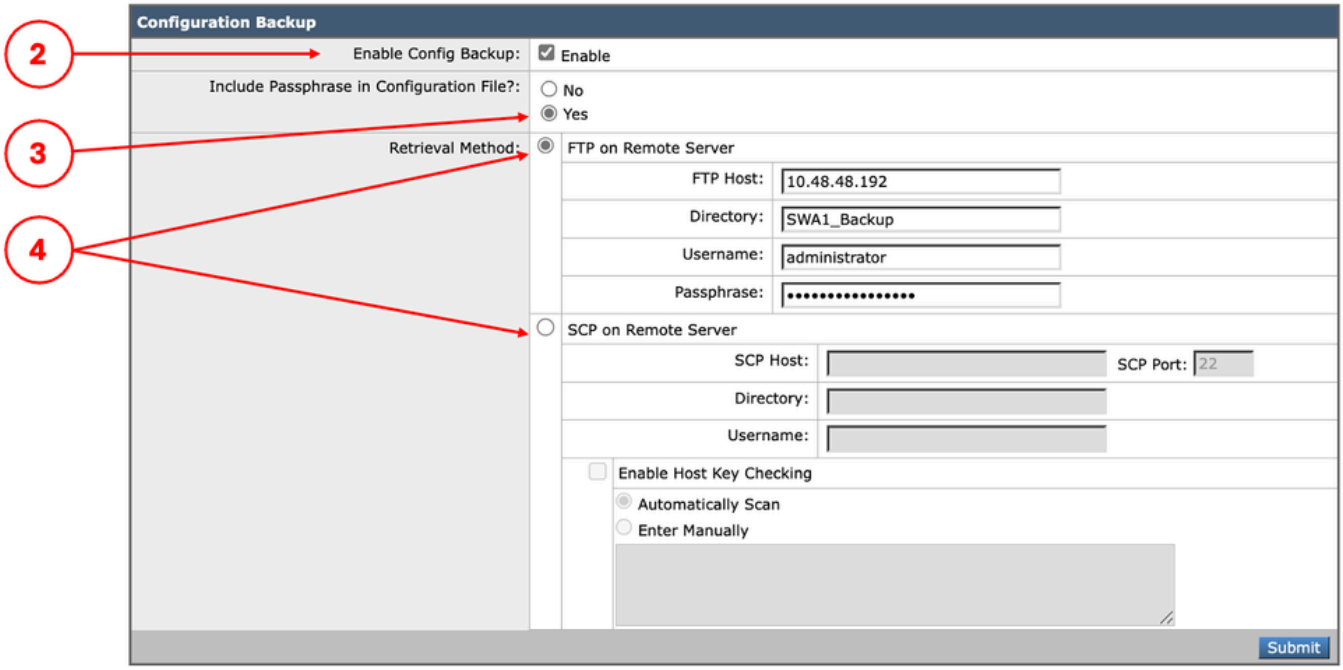
ステップ 1：GUIで、System Administrationに移動し、Configuration Fileを選択します。

ステップ 2 Configuration Backupセクションで、Enable Config Backupチェックボックスをオンにします。

ステップ 3コンフィギュレーションファイルをSWAにインポートできるようにするには、Include Passphrase in Configuration File?

ステップ 4設計に応じて、目的のプロトコルとしてファイル転送プロトコル(FTP)またはセキュアコピー(SCP)を選択し、コンフィギュレーションファイルを保存できます。

ステップ 5Submitをクリックして、変更を確定します。



イメージ – 自動構成バックアップ

CLIからのバックアップの生成

CLIから設定バックアップを生成できます。このCLIは、エクスポートされたファイルをSWAにローカルに保存します。

ステップ 1：CLIにログインします。

ステップ 2saveconfigを実行します。

ステップ 32を入力して、Encrypt passwordsを選択します。

ステップ4:（オプション）エクスポートするファイルにユーザ定義のファイル名を使用する場合はNと入力し、エクスポートしない場合はYと入力します。コンフィギュレーションファイルの名前を生成しますか。[Y]>.

```
SWA_CLI> saveconfig

Choose the password option:
1. Mask passwords (Files with masked passwords cannot be loaded using loadconfig command)
2. Encrypt passwords
[1]> 2

Do you want the system to generate a name for the configuration file? [Y]>

The file S1000V-4444444444444444-AAAAAAAAAAAAAA-BBBBBBBBBBBB.xml has been saved in the configuration di
```

ヒント：生成されたコンフィギュレーションファイルは、マシンの設定ディレクトリに保存

されます。このディレクトリにはFTPでアクセスできます。

SWAへのコンフィギュレーションファイルのインポート

ステップ 1：GUIで、System Administrationに移動し、Configuration Fileを選択します。

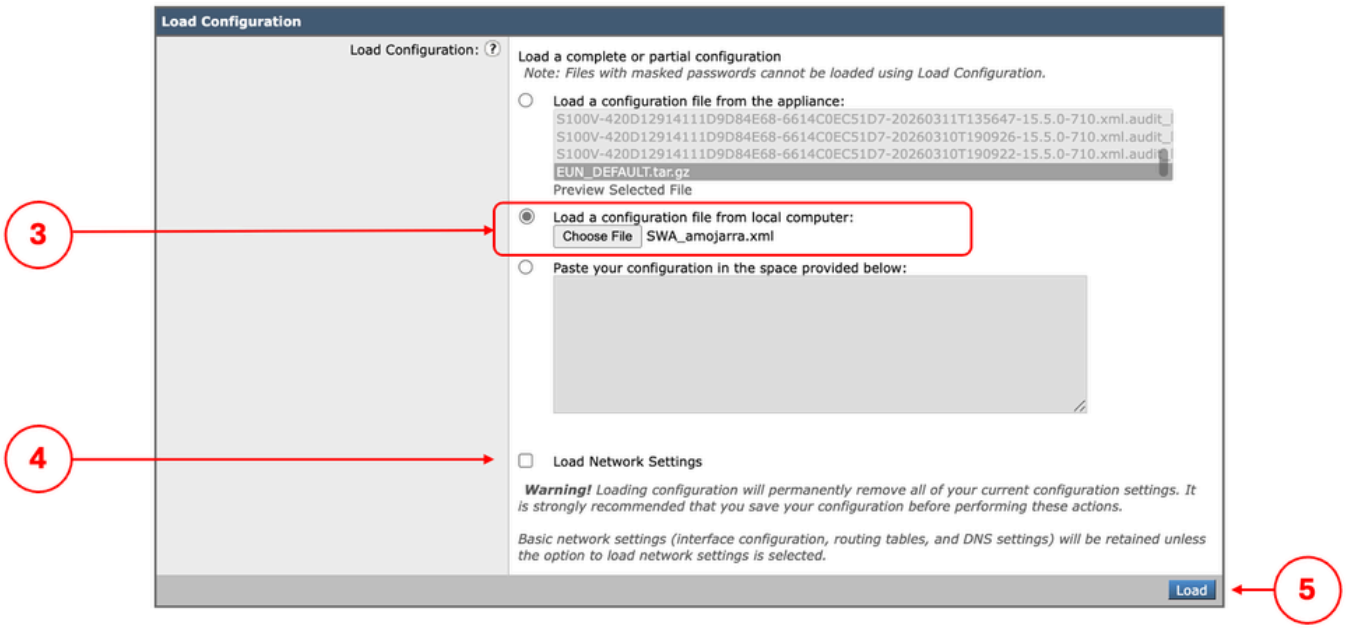
ステップ 2Load Configurationセクションで、Load a configuration file from local computerを選択します。

ステップ 3Choose Fileをクリックし、XML設定ファイルを選択します。

ステップ4:（オプション）ネットワーク設定をインポートする場合は、チェックボックスLoad Network Settingsを選択します。

ステップ 5Loadをクリックします。

ステップ 6Confirm Load Configurationポップアップでcontinueをクリックします。



イメージ：設定のインポート

関連情報

- AsyncOS 15.2 for Cisco Secure Web Applianceユーザガイド
- セキュアなWebアプライアンスの初期設定
- Cisco Secure Email & Web仮想アプライアンスインストールガイド
- Secure Web Applianceでのカスタム URLカテゴリの設定：シスコ
- セキュアなWebアプライアンスのベストプラクティスの使用

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。